

# 2.しらべよう火災

## (1)火災現場のようす

### 小学校が火事になったら…

#### 消火の時の服装



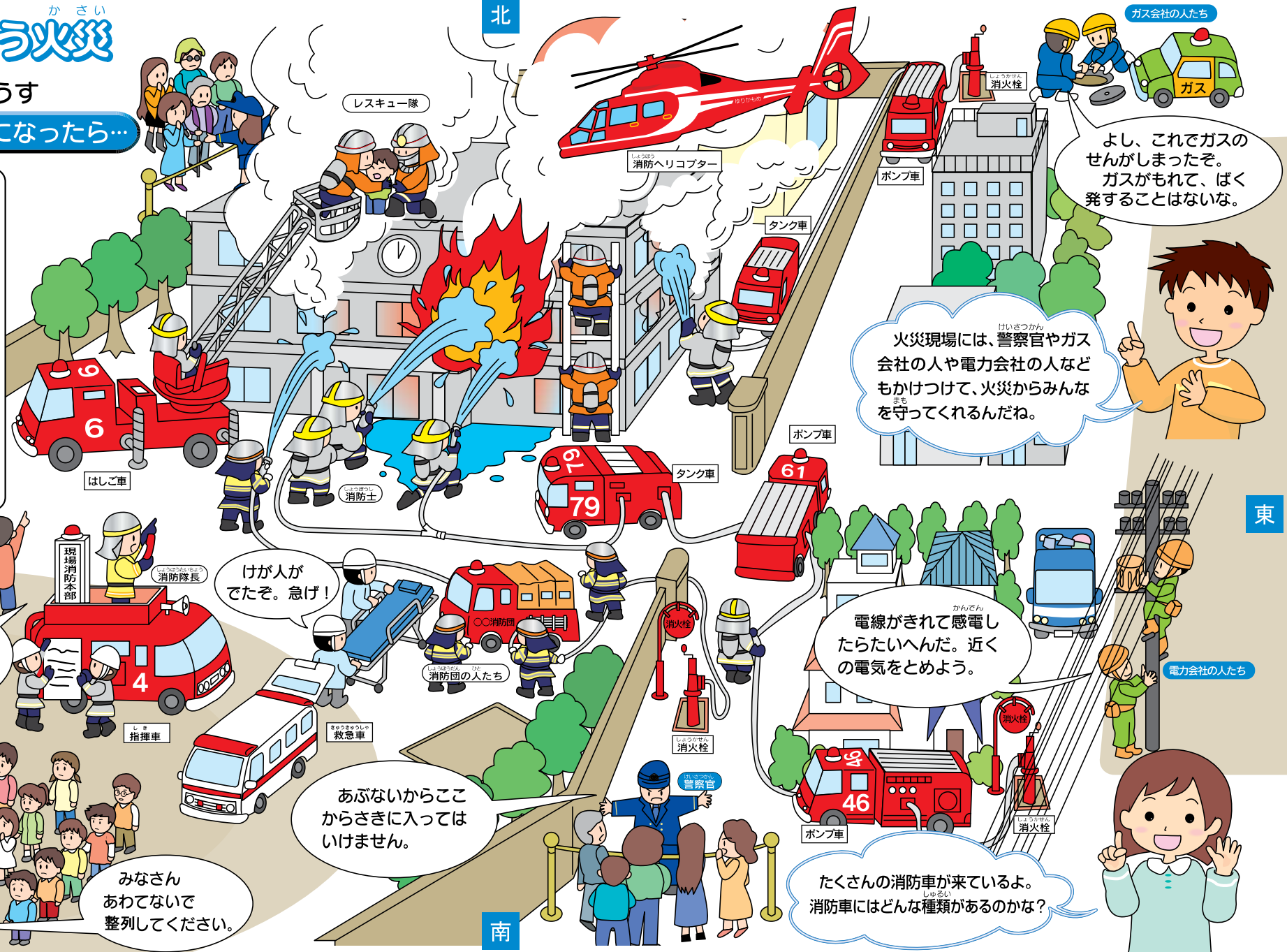
たくさんの装備を身に着けています。重さは全部で20キロくらいあります。

西

北

東

南



こちら現場本部。風が西からふいてきた。東の方から水をかける。

けが人がでたぞ。急げ！

電線がきれて感電したらいへんだ。近くの電気をとめよう。

あぶないからここからさきに入っては いけません。

たくさんの消防車が来ているよ。消防車にはどんな種類があるのかな？

みなさんあわてないで整列してください。

#### ねらい

火災現場で消火活動にたずさわっている消防士は、それぞれ仕事を受け持って、組織的に活動していることをとらえさせてください。また、警察、電力、ガスなど、それぞれの役割の特性を活かし、相互に協力しながら火災に対処していることをとらえさせてください。

#### 解説

消火活動は、指揮車にいる消防隊長が風向きや延焼方向から消火に一番よい方法を指示したり、状況を把握して緊急の連絡をしたりするようにしています。水道局の管理センターは、火災発生のお知らせを受けると、火災現場付近の水道管の水圧を中央監視盤で監視し、ボタン操作で電動弁を動かして、消火に必要な水圧の確保につとめます。

かさいげんば しょうぼうしゃ しょうぼうてい  
**火災現場にすばやくかけつける消防車・消防ヘリコプター・消防艇**

**陸では**

※ 名前の横の( )は、現在福岡市が持っている台数を表しています。

いろいろな消防車が火災の発生した場所や建物にあわせてすばやくかけつけるよ。  
 いろいろな消防車のおかげで、たくさんの人の命を助けることができるんだよ。



①**指揮車(7台)**  
 火災現場で指揮をする人が乗ります。



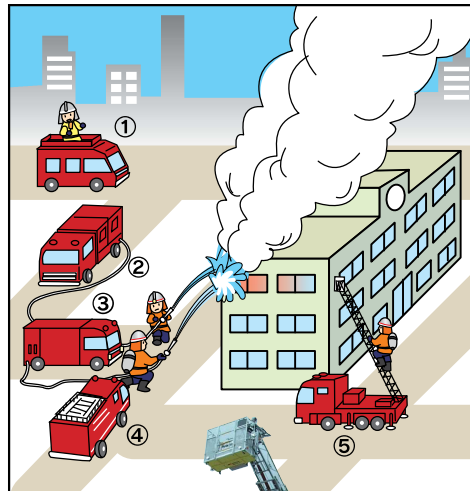
②**ポンプ車(25台)**  
 消火栓のほか川や池などから水を取り、消火したり、タンク車に水を送ったりします。(この車には0.6トン~1.5トンの水をつんでいます。)



③**タンク車(8台)**  
 たくさんの水をつんで火災現場にもっとも近づき、消火にあたります。(この車には3トン~8トンの水をつんでいます。)



④**救助工作車(10台)**  
 火災のときだけでなく、水や車の事故のときも、人を助けるための道具をつんで、現場にかけつけます。



消火活動のようす

⑤**はしご車(5台)**  
 はしごをのばすと41メートル(およそ13階)までとどきます。はしごの先から水を出して消火したり、にげおくれた人を助けたりします。



**空では**



●**消防ヘリコプター(2機)**  
 「ゆりかもめ」「ほおじろ」

近くの海や池から水をくみあげて火を消したり、空から人を助けたりします。空から見える情報を消防隊に教えるのも大事な役わりです。  
 ※左は「ゆりかもめ」 右は「ほおじろ」

**海では**



●**消防艇「飛龍」(16人乗り・19トン)**

船火災や海に近い場所での火災のほか、水難救助や離島での救急にも活やくします。

**いろいろな火災にそなえて**



●**化学車(2台)**  
 水では消えない油火災のとき、あわを使って消火します。



●**資機材搬送車(1台)**  
 山火事や地下街火災など大きな災害に山林ポンプ、呼吸器ポンペなどを運びます。



●**大型化学高所放水車(2台)**  
 飛行機の火災など大きな油火災のときに、22メートルのびるはしごの先からあわを出して消火します。



●**特殊災害対応車(3台)**  
 有毒ガスなどの特殊な災害に対応する消防車。ガスを調べる機械やガスから身を守る服を積んでいます。



●**特別高度工作車(1台)**  
 トンネルなどの火災のとき、煙や有毒ガスなどを風のか力で外に出します。

●**照明車(1台)**  
 夜の火災のとき、明るく照らします。



**解説**

指揮車は、各区にある消防署に1台ずつ配置されています。1トンは1,000リットル。一般的なお風呂(約200リットル)だと5回分です。

**解説**

消防ヘリコプターは、山林火災や離島での救急活動や広域な消防活動など広範囲の業務で活躍しています。また、消防艇は船舶や沿岸の消防活動、水難事故での救助活動さらには、離島での救急事案など幅広く活動しています。

## (2) まちの消火設備

### 火災現場での消防車の位置

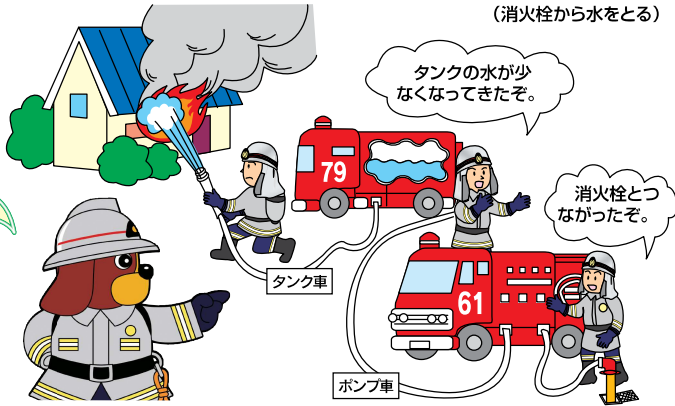


火がもえ広がらないような位置に消防車を停めて、消火をしているよ。消防車の位置から火が燃え広がらないようにしていることがわかるかな。



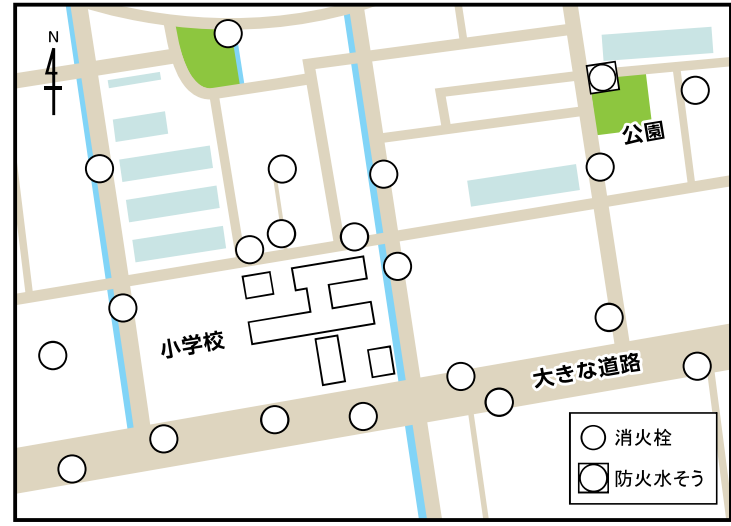
(消火栓から水をとる)

消防車は、火災現場のすぐそばに集まるのではなく、消火栓や防火水そうのある場所や消防車の種類によって、いろいろなところにとまって活動するよ。  
だから、消火栓の上や近くに車が止まっているととてもこまるんだ。



**ねらい** いつ、どこで火災が発生しても水が確保できるように、消火栓は一定の間隔をおいて整備されていることをとらえさせてください。  
風向きから消防車の停車位置を考え、放水していることをとらえさせてください。

### 小学校のまわりの消火設備の位置



小学校のまわりには、消火栓や防火水そうがどのくらいあるだろう。みんなの周りでも探してみよう。



防火水そう



地中にうめられている消火栓



消火栓の標識

### 福岡市の消火設備の数 (令和6年)

地中にうめられている消火栓	20,287ヶ所
防火水そう	922ヶ所
川	88ヶ所
池	43ヶ所
井戸	19ヶ所

みんなの校区にも消火設備があるかさがしてごらん。



では、実際に火災がおこったら、どうやって現場にかけつけているのかな？

**解説** 消防車は全て火元に近いところに集まって消火活動を行うのではなく、消火・送水・救助の役割や消火栓・川などの水源から水をうまくリレーする必要があるため、火元から離れているところからでも消火活動を行います。  
消火活動は延焼拡大を防ぐため、風下から行います。

つうほう しゅつどう  
(3) 通報から出動まで

かくじつ かさいげんば  
すばやく確実に火災現場へ行くしくみ



かし  
火事です。  
いえ  
となりの家もあっています。  
たす  
助けてください

119番通報するときは、住所、近くの目印になる大きな建物や、コンビニや交差点、バス停などをあわてずはっきり伝えよう。



119は住所から

何区ですか。何町ですか。何丁目何番地ですか。  
近くに何か目じるしになるものはありますか。  
あなたの電話番号と名前を教えてください。



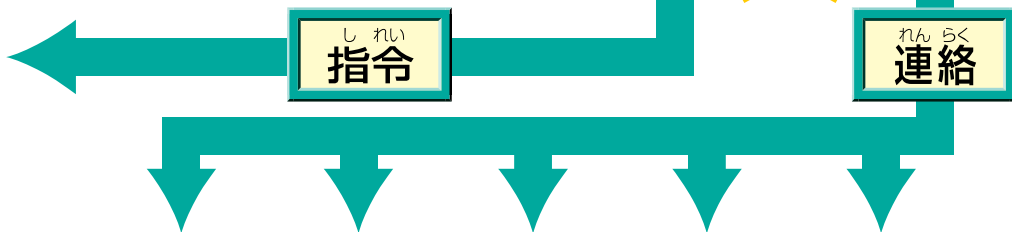
ばんつうほう  
119番通報



〇〇町〇〇丁目で火災発生。



消防署だけでなく、街を走っている消防車にも指令が流れるよ。



本部の指令センターから近くの消防署へ指令が伝わるんだね。  
福岡市には、消防署や出張所がいくつあるのかな？



ねらい

火災現場へすばやく確実に行くことができる仕組みや、消防署を中心にいろいろな関係機関が協力して組織的に活動していることをとらえさせてください。

解説

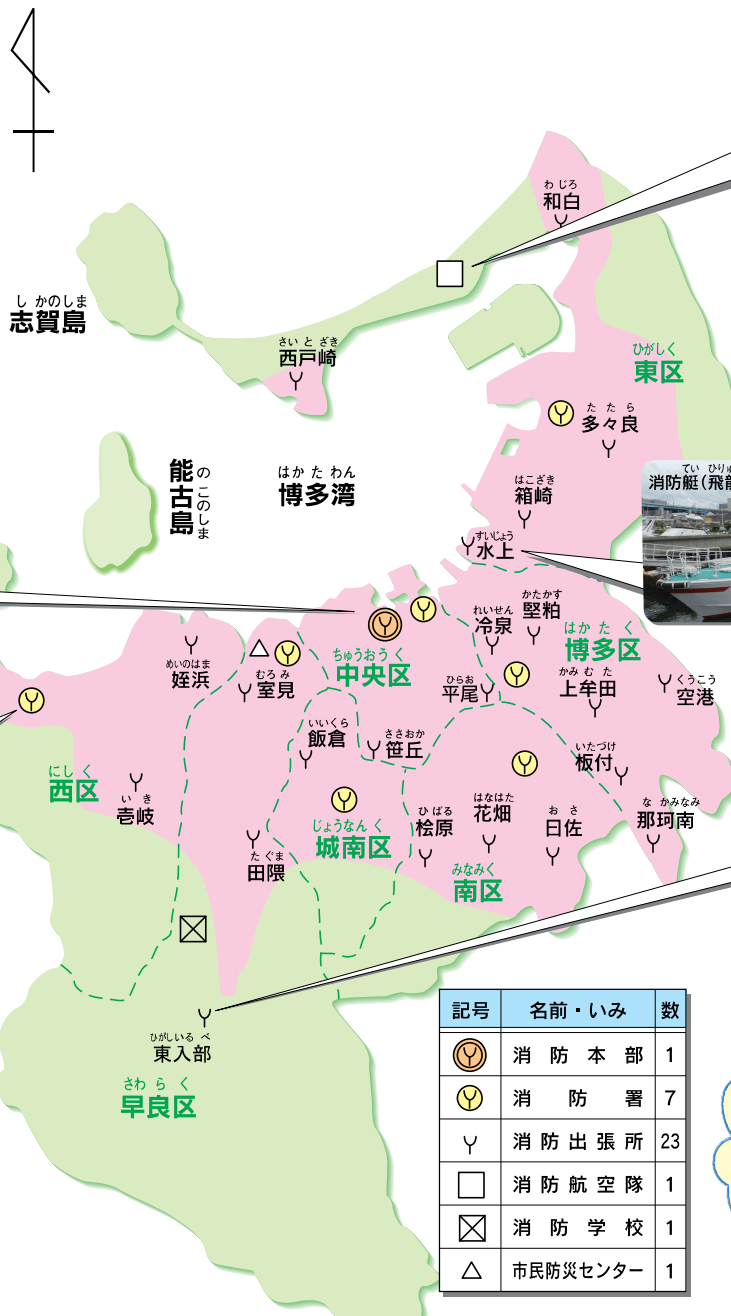
119番通報では、火災現場の「場所」を早く特定することが重要です。場所が特定でき次第、火災現場に一番近い消防隊に出動指令がかかる仕組みになっており、消防車には火災現場までの地図や消火栓などの位置をうっし出すカーナビゲーションがついています。  
※福岡市内の災害の問い合わせ…災害情報ダイヤル 092-791-1625

きょうりょく しょうぼうしょ しゅつちやうしょ  
**おたがいに協力し合う消防署や出張所**

福岡市のどの区にも消防署が1つずつあるね。ピンク色のところは、家や人が多いところだよ。出張所は人が多いところにつくられてるんだね。



玄界島  
志賀島



消防ヘリコプター(ゆりかもめ・ほおじろ)  
 ▲空からの救助・消火にそなえる消防航空隊基地 (東区)



▲海岸・船の火災にそなえる水上出張所 (東区)



消防艇(飛龍)



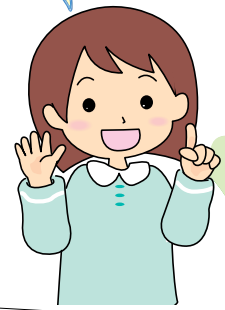
▲市内23ヶ所におかれている出張所 (早良区 東入部出張所)



▲災害救急指令センターがある消防本部 (中央区)



▲各区に1つおかれている消防署 (西区)



ぼくたちは日ごろの※防火の仕事をしているけど、他の区やとなりの市町村の火事に出動することもあるよ。  
 消防署や出張所は、すばやく火災現場へ行けるように、人がよく集まることや移動時間のことを考えてつくられているんだ。



消防士さんたちは、火災にそなえて、ふだん消防署の中でどんなしごとをしているのかな？



**ねらい** 消防署や出張所の位置や数は、家屋の広がりや火災現場への到着時間と関係があり、この配置がすばやく消火できる工夫のひとつであることをとらえさせてください。

**解説** 福岡市内では火災通報が概ね 5分以内に現場に到着できる態勢をとっています。  
 ※「防火の仕事」とは主に18・19ページにあるような仕事のことです。  
 消防署の位置は令和7年1月現在のものです。

# か さい きゆうきゅう しょうぼう し (4)火災・救急にそなえる消防士

ちゅうおう しょうぼう しょ いしはし  
[ 中央消防署の石橋さんの1日 ]



わたしたち消防士が火災のない時にどのような仕事をしているのか、日頃どのように準備しているのか、紹介します。



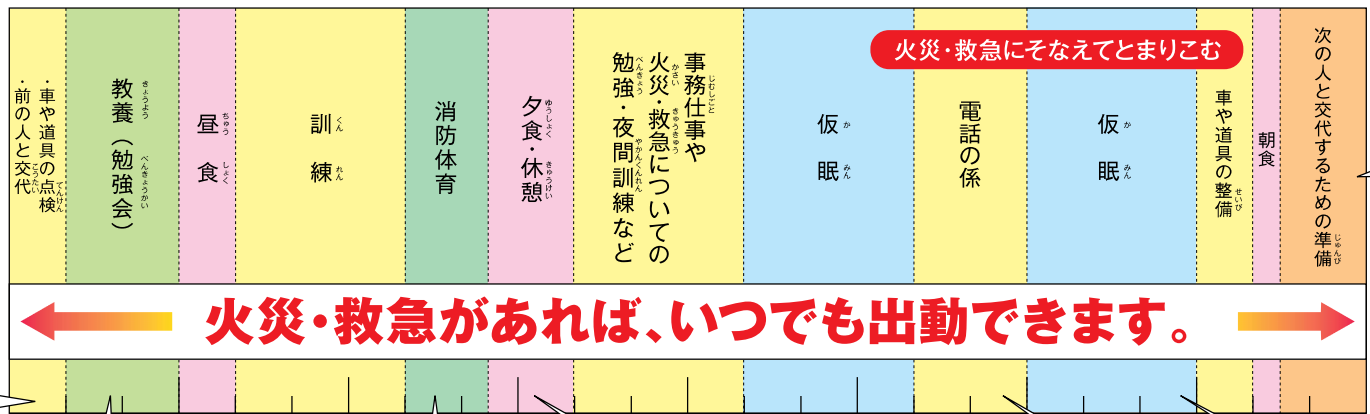
これだけ多くの装備を付けて火災現場に出動します。



すばやく身に着けられるように毎日訓練しています。



指令から1分以内に出動できるようにいつでも準備しています。



消防車についている無線機などの道具の一つひとつについていねいに調べます。



消防車にはいろいろな設備や機械があります。



必要な時すぐ使えるように、毎日点検をしておくことが大切です。



火災について勉強することも大事な仕事のひとつです。今日は、火災現場でのやくわりや分担についてみんなで話し合いました。



消防士にとって大切なのは強い心と体です。毎日、消防体育(トレーニング)の時間があります。



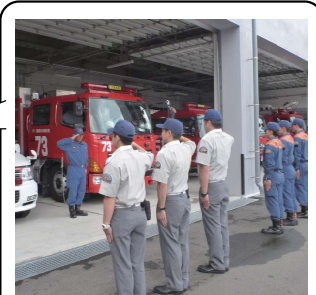
いつでも火災に出動できるよう、消防署の中で食事をとります。



夜中も交代で2時間ずつ「電話の係」をします。いつでも連絡が取れるようになっています。



仮眠とは、すぐにおきることができるように浅くねむることです。いつでもすぐに出動できる服でねます。



次の人たちに仕事の引き継ぎをします。交代したら、24時間の仕事がよく終わります。

## ねらい

消防士は、火災の時に備えて、常日頃から火災についての学習や訓練を行い、知識と技術を磨くとともに、心と身体を鍛えていることに気付かせてください。

## 解説

福岡市消防局職員は1,151人です。(令和7年4月現在) 訓練は様々な種類があり、1か月ごとに作成される「業務計画」にそって行われていきます。 ※このページは、石橋隊員のある一日の業務内容をもとに作成したものです。

## (5) 火災をふせぐ・被害を少なくするための取り組み

消防署では、火を消すことばかりでなく火災をふせぐための検査や、被害を少なくするための指導もしています。



### 火災をふせぐための取り組み

#### 【火災をふせぐための検査】



ガソリンや灯油が、安全に取りあつかわれているかどうかを検査します。



誘導灯や火災報知器など建物に必要な消防設備があるか、いつでも使えるようにしているかなどを検査します。



火をよく使うところで、そばにもえやすいものがないか、消火器がそなえてあるかなどを検査します。



#### 【火災の原因の調査】



火災の予防に役立てるため、火災の原因を調べます。

消防士さんの仕事は、火を消すことの他にも、たくさんあるんだね。



#### 解説

- 消防署が行っている様々な火災予防対策には大きく次の2つがあります。
- 次の火災を防ぐために、原因の調査を行ったり、機器や設備の検査を行ったりする。
  - 被害を最小限に留めるために、避難の仕方や消火の方法について指導を行う。

## 被害を少なくするための取り組み

#### 【ひなん訓練】



火災になったとき、あわてずひなんすることができるように指導しています。

#### 【防火教室】



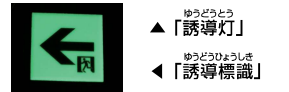
消火器を正しく使えるよう指導しています。

みんなの家の近くや学校にも、検査や指導にいらしています。



防災アラカルト

### このマーク、どこかで見たことありませんか？



このマークは火災などが発生した場合でも、安全にひなんできる方向を教えてくれるものです。「誘導灯」の中には、電池が入っており、停電しても電気がつくようになっています。「誘導標識」の中には、電池は入っていませんが光を集めて暗い中でも光るようになっています。人の命を守るためにこんなに細かいところにも工夫があるんですね。

#### 解説

消防士の服装の違いは、消防隊、救助隊、救急隊、予防要員等の業務内容のちがいによるものや夏服・冬服の違いによるものがあります。

## 市民のみなさんに呼びかける取り組み

福岡市では、市民のみなさんに火災や災害にそなえてもらうために、いろいろな取り組みをして、呼びかけをしています。



消防出初式



消防音楽隊の活動



福岡市民防災センターや消防署でおこなう防火、防災のイベント



市民防火の日	毎月1日	市民防災の日	3月20日
福岡市消防出初式	1月はじめ	救急の日	9月9日
文化財防火運動	1月26日～2月1日	119番の日	11月9日
春の火災予防運動	3月1日～3月7日	秋の火災予防運動	11月9日～11月15日

### ねらい

火災予防等の普及啓発を目的に、消防が担う「公助」のほかに市民の「自助・共助」の推進を図るため、さまざまな取り組みを行っていることを理解させてください。

## 市民のみなさんの協力



火災に負けない町づくりは、消防士の力だけではできません。被害を少なくするためには、少しでも早く消火すること（初期消火）が大切です。そのために、市民のみなさんに呼びかけて消防のために消防団や自主防災組織をつくってもらっています。小さな子どもたちから大人たちまで、いろいろな人がすすんで協力しています。

### ～地域で組織された「消防団」～

わたしたち消防団は普段は自分の仕事をしていますが、火災の時など消防署の人たちと協力して消火にあたります。



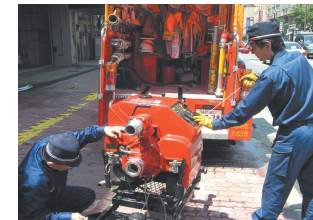
会社員（普段）

会社で働いている人も火事が起こると、消防団員として、活躍します。



消防団員（火災時）

消防団の団員は、地域の防災訓練に参加したり、休日に消防ポンプの点検や消防士との合同訓練もしたりして、火災から安全を守るために努力を続けています。また、応急手当のやり方を市民に教える仕事などもしています。



### ～市民の自主防災組織～



### 解説

福岡市の消防団は、7団63分団2,602人で組織され、非常勤団員として、奉仕と郷土愛の精神にもとづき、防災活動に従事しています。（令和7年4月現在）  
消防少年団と幼年消防クラブは、主に防火教育の啓発の目的で組織されています。女性防火クラブは離島や漁港などで男性がいない際に消火活動にあたる組織です。自衛消防隊は大規模の事業所に義務付けられた消防組織です。自主防災組織は、小学校区ごとに「自分たちの地域は自分たちで守る。」という自主的な組織です。